

単元名

## 「運命の仕事に出会うために」～ビブリオトーク～

挑戦問題 『仕事の魅力を伝えるプレゼンに挑戦しよう』

本単元で育成する資質・能力

感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

## 期待される生徒の変容

2学年では、来年の進路選択を意識し、将来の職業に視点を置いた実践を行っていく。そのきっかけとなるこの取組では、たくさんの職業がある中、あえて生徒の興味を持ったことのない職業に関する本からその魅力を読み取り、得た情報をクラスの仲間に紹介することによって、表現力の向上を意識させ、発表で共有することによって、将来の職業についての意識向上が期待される。今後は、8月に実施するキャリア・スタート・ウィーク（職場体験）や2学期の起業企画につなげていきながら、仕事の魅力や今後の自分の生き方につなげて考えようとする態度を育てる。

## 令和元年度取組より

## Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・仕事に魅力があるという考えは自分にはなかった。この本を読みながら仕事のすごさを知りたいと思います。
- ・仕事は大切で、いろいろな仕事があることは分かっているが、仕事の魅力ってなんだろう？
- ・いつもは自分の読みたい本しか読んでいないので、今回の運命の本のような説明文は苦手です。
- ・仕事の魅力について、どんな言葉を使ったらみんなに分かりやすく伝えることができるのか、考えていきたい。



「付箋読み」

## After 【振り返り】

- ・義足を作る仕事についての本を読みました。読んでいくうちに、この仕事の奥深さや大切さ、素晴らしさが分かってきた。自分もこのようなやりがいのある仕事に就きたいと思いました。
- ・お金のために仕事があるのではなく、人に喜んでもらうためでもあることが分かりました。学校でのいろいろな役割も人に喜んでもらうためにあるのだと思いました。
- ・最初に作ったスライドで満足しないで、アニメーションや画面を工夫したり、先生からアドバイスをいただいたりした。先生から「いいね」と言われるものになったが、それからさらに何回も手直しして先生から「完璧」と言われた。探究・挑戦の力が付いたと思います。



発表の様子

## 令和2年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・情報収集にかなりの時間がかかるので、今回から前年度に本を渡し、春休みに読み、新学期がスタートしてからすぐに発表原稿を作成できるようにした。4時間程度短縮できたが、タブレットでのスライド作成に多くの時間を費やした。そこで、大幅な短縮を行うため、来年度から一人1冊のビブリオトークをやめる。しかし、1学期後半からのキャリアスタートウィークや起業企画につなげていく「志」を持たせていくため、次のような取組を行っていく。

- ①春休みの課題として、周囲の人から仕事についての聞き取りを行う。（家族、親戚 等）
- ②起業企画のスタートとして、地域の起業家から話を聞く会を持つ。（4月に2回） 2h
- ③地域の町おこしに関係する本を読ませ、まとめて発表させる。（5月下旬） 5h
- ④振り返りを行い、次の起業企画に向けての志を持つ。 1h

したがって、本来の目的である仕事についての情報収集力や整理分析してまとめていく力、さらに発表することを通して表現力を付けていく活動は、働くことへの意義を問い直し、職業的視野を広げていく目的として続けていく。